資料3

基本理念・将来像（案）

まちづくりの基本理念

まちづくりの基本理念は、次期総合計画においても現行の理念を踏襲します。

地域特性と市民の知恵を最大に活かしたまちづくりの推進

本市が有する豊かで美しい里山里海、匠の文化、ものづくり産業、個性豊かな祭り、伝統行事、文化遺産等の様々な地域資源を最大限に活用し、まちづくりを推進します。

さらには、時代の流れに柔軟に対応しつつ、地域の課題を克服し、暮らしやすいまちづくりを進めるため、市民と行政が目標に向かって協働し、創意工夫によって活力に満ちたまちづくりを推進していくこととします。

将来像

【現行】“あい”の風がはぐくむ　快適・活気・夢のまち

市民と行政が一体となって、連携・協働のもとに、“住んでみたい”、“ずっと住んでいたい”と思える「まち」を目指し、住んで楽しく、訪ねてうれしい、人が行き交い賑わいのある輪島市を想像します。

「あいの風」は「あえの風」ともいい、日本海の沖合から陸へ吹く北東からの風のことで、古くは万葉集にも詠まれた「東風（あゆの風）」が転じたものです。あいの風を帆に受け、日本海を往来する北前船が、本市に活力と文化の多様性をもたらしました。そのため、「あいの風」は、これからのまちづくりにおいても欠かせないキーワードであると考えています。

復興まちづくりにおける基本理念（スローガン）、[震災からの復興]や[新たなまちづくり]などの視点も取り入れた、これからの本市が目指すまちの将来像を設定します。

【例１】“あい”の風がはぐくむ　新・輪島

・“あい”の風がはぐくむ：伝統文化、自然等によって今の本市があることを表現
・新・輪島：震災からの復興の先にある新たなまちづくりを表現

【例２】もとよりもっと　創造都市わじま

・もとよりもっと：被災前の姿を取り戻すわけではなく、まちづくりにおいて新たな付加価値や魅力を創出することを表現
・創造都市わじま：創造的復興を目指すまちの姿を表現

【例３】みんなでつくる　豊かな輪島

・みんなでつくる：市民ひとりひとりが主役となったまちづくりを表現
・豊かな輪島：地域資源だけでなく幸福度の高いまちであることを表現

市民の皆様に分かりやすく活力につながるようなフレーズ、印象に残るフレーズがありましたらご提案ください。

基本方針（案）

現行の基本方針を踏襲したうえで、「Ⅵ　みんなでつなぐ復興まちづくり」を追加します。

Ⅰ　安全・安心・快適なまちづくり

人口減少や高齢化、頻発する自然災害など、時代の変化に翻弄されることなく、これまでに地域が育んできたコミュニティ、豊かな自然や景観等を活かした安全・安心・快適なまちを目指します。

Ⅱ　活力を生み出すまちづくり

戦略的交流による地域振興、活力に富む産業振興、多様な就労機会の創出など、多様な交流機会から産業の担い手育成を進め、活力を生み出すまちを目指します。

Ⅲ　健やかに過ごすまちづくり

女性が活躍できるまち、地域で支え合う福祉の増進、生涯にわたる健康づくりを進めることで、人口減少に歯止めをかけるとともに、地域の活力を高め、市民が健やかに過ごせるまちを目指します。

Ⅳ　ふるさとを学び誇るまちづくり

本市が有する自然豊かな里山里海や歴史と伝統文化を身近に感じることができる教育環境のもと、困難に打ち克つ人づくり、伝統・文化を次代につなぐ取り組みを通じて、市民の誰しもがふるさとを学び誇れるまちを目指します。

Ⅴ　市民と行政の協働によるまちづくり

成熟した地域社会において官民の役割分担を明らかにしつつ、行政経営基盤の強化とともに、これまで以上に市民と行政の協働によるまちづくりを進めます。

Ⅵ　みんなでつなぐ復興まちづくり　追加

災害に強い住宅整備、農林水産業や観光業の活性化等の復興に向けた整備、未来にわたる安全・安心なまちの実現などをはじめとした、被災者の生活再建、生業の再興、新たなまちへの再生を進めます。